

日本一暮らしやすい街に

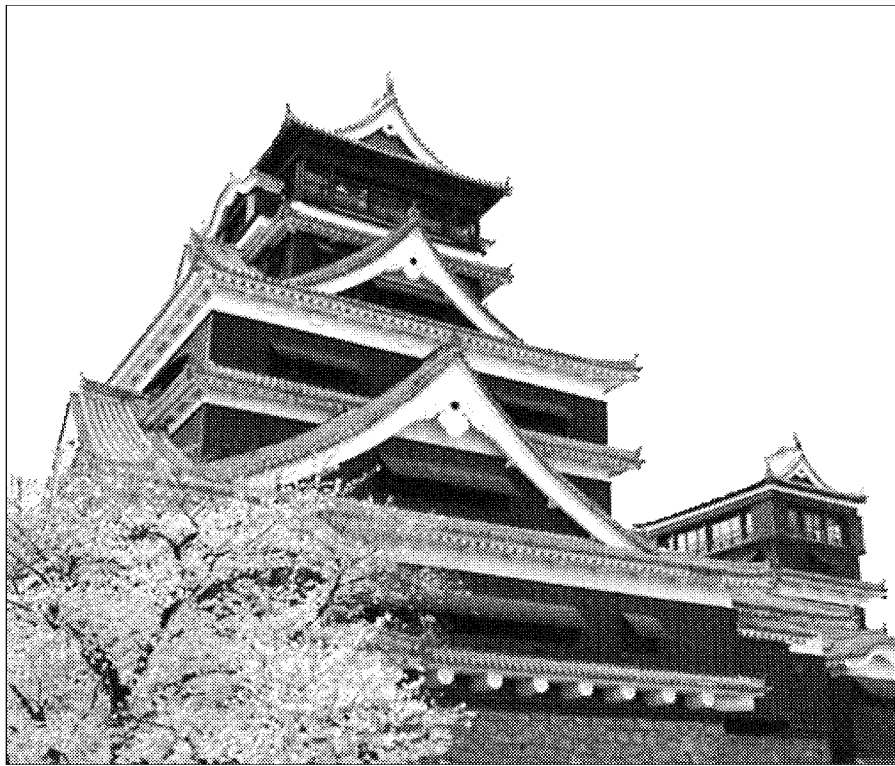
政令指定
都市・熊本



熊本市長 幸山 政史氏

「いよいよ政令指定都市に移行します。『今日に至るまで、周辺自治体との合併が進まないなど困難なこともあった。市長に就任した02年から一貫して政令市を目指してきている。ようやくという感覚無量で感概深い』」

「合併がうまくいかなかったことを失敗からスタートととらえ、不安に思われていた財政の健全化問題とビジョンづくりに取り組んできた。その過程で住民と一緒にたつて、政令指定都市になることが目的ではなく、暮らしやすい街づくり、港や港を利用しやすいという県全体に果たしたい役割もある。例えば市内を通る九州自動車道に連



熊本市のシンボルである熊本城

生活に密着した魅力

熊本市は九州の中核、県の西北部に位置する。人口は73万人で世帯数は100万人都市圏の核となっており、市のシンボルである熊本城は全国で最も屈指の名城とされ、毎年多くの観光客を引きつけている。07年には築城400周年を迎え、本丸御殿大広間の復元などが行われた。現在、城周辺の観光地としての整備が進む。市の魅力には生活に密着したものが多い。上水道の水源が100%地下水で水道水がいわばミネラルウォーターであること。また人口10万人当たりの医師数や専任救急隊数がトップクラスであるという医療の充実も挙げられる。

熊本市が4月1日に全国で20番目の政令指定都市に移行する。九州では北九州市、福岡市に次ぐ3番目で、福岡市の1972年以来40年ぶりだ。道路行政など多くの権限が県から移譲され、主体的かつ機動的な市民サービスが可能となる。幸山政史市長は新たな市政体制で市の魅力に磨きをかけ「日本一暮らしやすい都市づくり」を目標に掲げた。また一体的な魅力向上が課題の九州において重要な役割も期待される。東日本大震災後としては初の政令市移行。新たな自治体のあり方を示す存在にもなりそう。

都市戦略を 構想

一方、市は10年10月に「熊本市政令指定都市ビジョン」をまとめた。期間は政令指定都市移行からおおむね10年間。目指す姿は「九州と真ん中!日本一暮らしやすい政令市くまもと」と水と緑と歴史を満喫できる都市としての誇りを掲げている。

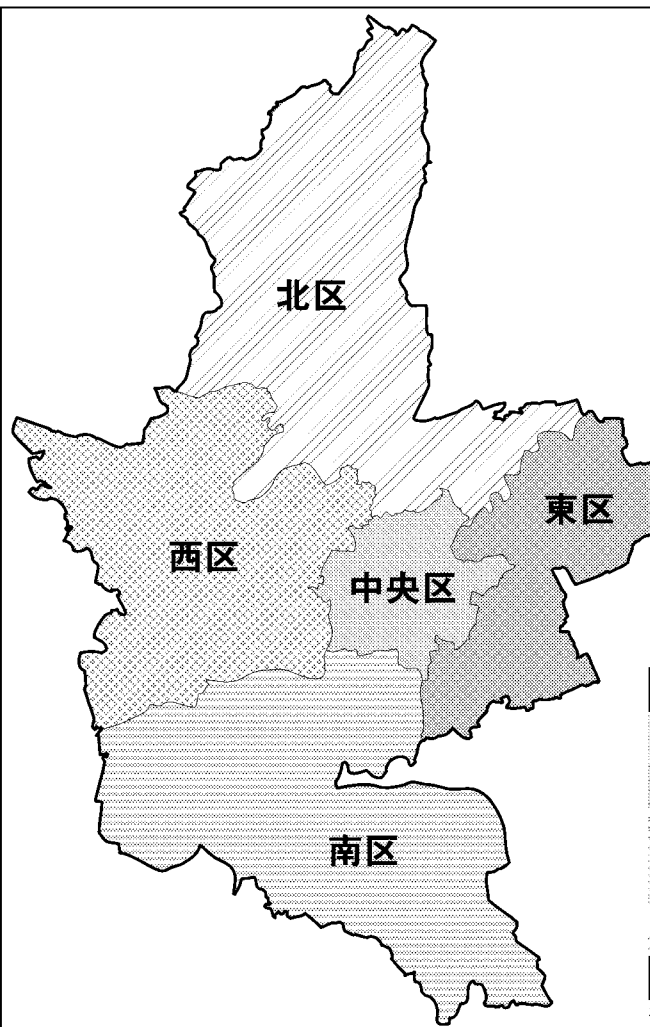
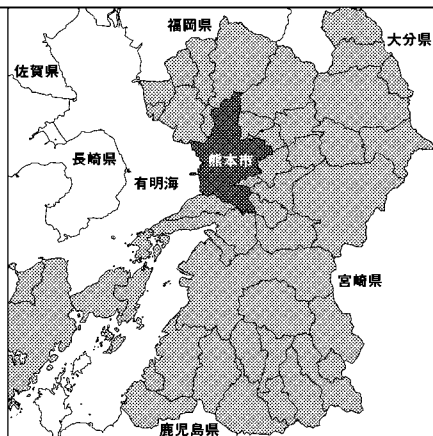
史が息づき未来へ挑戦する交流拠点都市。『だ。その表現のために『挑戦』と名付けた重点戦略に取り組み。『名城を持つ歴史と文化の息づく都市としての誇りと挑戦』として歴史

「道路や教育、障害者福祉など市民に密着して、これまでの県に頼っていた面がある事業を主体的にできるようなる。道路などのインフラの充実、市民の暮らしを良くするだけでなく市外の空港や港を利用しやすいという県全体に果たしたい役割もある。例えば市内を通る九州自動車道に連

アジアの観光客誘致

要だったと思う。07年の熊本城築城400年、11年の九州新幹線全線開業によって県全体でまとまる機運が高まってからの移行は良いタイミングだと思つた。『観光面では阿蘇地域、天草地域との連携を強化

結を予定しているスマートインターチェンジを使いやすくするのは県全体のために必要。『今後力を入れた分野は。『観光面では阿蘇地域、天草地域との連携を強化

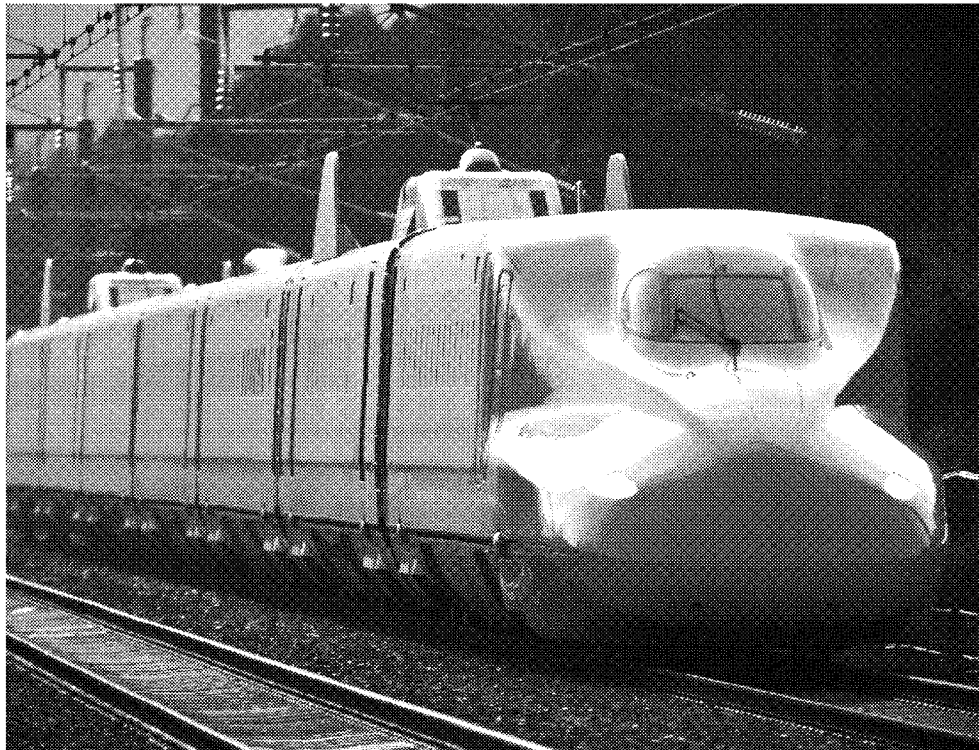


政令市移行により五つの区が誕生

五つの挑戦を設定

市外の都市との連携が課題だ。『だれもが安心して暮らせる政令指定都市としての誇りと挑戦』では医療機関との連携を強化する。また12年1月には「熊本市コンベンションシティ基本構想(素案)」をまとめた。

「観光客を誘致する。それぞれの地域が特色を出して役割分担し、熊本で臨みたい。熊本大学など市内の大学との連携を強化。大学の持つネットワークを生かしたい。『九州における市の役割も重要になる。』」



九州新幹線全線開通で関西方面へも便利になった

九州総合通信局の取り組み

熊本市には九州全体または南部を管轄する行政機関が多く存在する。全体では九州総合通信局や九州農政局、九州森林管理局があり、南部では九州財務局や熊本国税局など、これらを見て同市の拠点機能は高いと言え。各機関は九州の現状に即した取り組みを展開している。

九州総合通信局は12年1月、大規模災害発生時の通信手段確保に関する検討会の報告書をまとめた。同会は10年の奄美豪雨災害や11年の東日本大震災を教訓にするため、同年8月から開催。アンケートの検討や課題抽出、解決策の検討が行

Kumamoto University

誕生! マグネシウム合金の国際拠点
熊本から世界へ。
熊本大学 先進マグネシウム国際研究センター

センターの活動目的

- KUMADAI マグネシウム合金の開発、製造、加工 およびリサイクルまでの一貫した研究
- KUMADAI マグネシウム合金の研究に関する国際連携
- KUMADAI マグネシウム合金の開発に関する産学連携
- マグネシウム合金開発に関する人材育成

国立大学法人
熊本大学
〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1 Tel/Fax 096-342-3877

九州から発信、そして未来へ!!

地域企業との協力体制を強化し技術力向上に努めるとともに社会の発展に貢献して参ります。

＜主な事業内容＞

- 車体機能部品・車体装飾部品製造
- 液晶・半導体生産装置組立・部品加工

AIK
アイシン九州株式会社
http://www.aisin-kyushu.co.jp/
〒861-4214 熊本県熊本市南区城南町舞原字西500-1
TEL: 0964(28)8181 / FAX: 0964(28)8155

走り続けた100年
これからも・・・

熊本電気鉄道株式会社